

# 全組合員の総決起で不当処分策動を粉碎しよう！

## 日刊 動労千葉

80.5.5  
NO. 419

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
電話二二五八一九（公巻）三三二七二〇七

5/17 支部代表者会議開催

「4.15」を口実とした「本部」・国鉄当局  
一体となった破壊攻撃を許すな！

動労千葉は、5月1日、13時より動力車会館において5/7回支部代表者会議を開催し、「4.15」を理由とした「本部」反動分子の、動労千葉への処分要求を利用した国鉄当局の不当処分策動に対し、全支部、全職場から断固たる反撃の叫びに決起することを意志統一し、決定した。

会議は、西森副委員長を座長に南川委員長からのあいさつに続いて、布施組織部長から

- ①、「4.15」をめぐる経過
- ②、「本部」主導の反動分子の動労千葉への処分要求と哀訴路線
- ③、これを利用した国鉄当局の不当処分策動の強まり
- ④、さらにこうした一連の動労千葉つばしの策動に対する当面のとりにくみについて、提案された。

さらに、中野書記長から補足提案を受け、この間の叫びでかちこった成果と団結力を結集し、全支部全職場であらゆる戦術を駆使して、この理不尽な不当処分攻撃を断固はねかえす叫びに決起することを全体で確認、決定した。

支部代表者会議で確認された事項  
不当処分策動の本質と情勢

「4.15」をめぐる経過については、この間の「日刊」でも明らかのように、**オ一に**、あらゆる点で「本部」反動分子の動労千葉破壊攻撃であることがますますはっきりとしている。

**オ二に**、「4.15」破壊襲撃が動労千葉の固いスクラムの前に完全に粉碎されるや、「本部」反動分子は、彼らの常トウ手段である「国鉄当局への哀訴路線」をもつて動労千葉への処分要求

をゴリ押ししているのである。**オ三に**、この背景として、すでに一年以上も経過しているにもかかわらず、「支部」すらもデツチ上げることが出来ない「本部」反動分子にとつて、「5.10」**オ四に**、一方で国鉄当局は「本部」反動分子の哀訴路線を利用し、「乗務員運用合理化を早急に集約し、「5.10」を先どり実施し、一気に「35万人体制」を完成させようとしている。

**オ五に**、最も重要なことは、「5.3」のエット燃料貨車輸送の期限切れが刻々と近づく中で、天下周知の如く、あのパイプライン計画は全く見通しすら立たない状況にある。中東朝鮮に見られる一触即発、戦争の危機にゆざみられて、急激な軍事大国化への道、帝国主義国間の抗争に勝ちぬくために、今日帝は「航空宇宙産業」「軍需産業の抜本強化」に全力を投入している。当然それは巨大空港建設を不可欠の柱とする。三里塚二期工事強行を日帝は全体重かけてやろうとしている。

不当処分粉碎・三里塚総決起！動労千葉総力態勢へ！  
5.17（結成1周年を圧倒的記念集会）に成功すべし、5.25（三里塚現地）に総結集しよう。

# いかなる破壊攻撃も断じて許さず！ 全支部、直ちに総力決起体制を築け！

(表よりつづく)

政府・空港公団のかかる「燃料輸送問題のゆきづまり」は、極めて深刻であり、二期工事着工攻撃とあわせて、ゆが動労千葉の存在と戦闘性を破壊しようとする攻撃が強められることは必至である。

今回の国鉄当局の選別的な不当処分策動こそは、戦闘的ゆが運動再生の中軸であり、焦点でもあるゆが動労千葉に対する一連の組織破壊攻撃の突破口である。

「本部」反動分子は、動労千葉が遂に佐倉支部を結成した事に追いつめられた一部裏切り分子へのテコ入れを通して、組織破壊の攪乱策動を焦り強めている。そして遂に「佐倉をよくなる会」連絡事務となる「通達」を出し、明確な組織分断策動を開始してきている。

## 不当処分粉碎にむけた 当面の取り組み

### 一 闘いの目標

- ①、不当処分粉碎
- ②、「津田沼特別班」解体
- ③、「佐倉をよくなる会」なるものを利用して分断策動を粉碎し、佐倉支部の組織強化をかちとる。

### 二 具体的取り組み

- (1)、不当処分が強行された場合は泥沼化を恐れず、この間の闘いでかちとってきた成果と団結力の全てをかけた組織の存亡をかけた闘いとして、トライキを含むあらゆる戦術を行使し、職場・生産点の日常的闘いを基盤に不当処分を粉碎してゆくこととする。

- (2)、あらゆる不当処分策動に対しては直ちに非協力闘争に決起できる体制を全支部、全職場で確立する。

- (3)、この不当処分攻撃が「三里塚・ジマト」35万人体制合理化粉碎を真に闘う動労千葉への組織破壊攻撃であることをの本質と事態を全社会的に

明らかにし、広く支援・連帯を求め、闘いを展開する。

- (4)、「本部」反動分子をはじめとするこの不当処分攻撃と一体となつたいかなる組織破壊攻撃をも粉碎する。

当面、「津田沼特別班」解体闘争と「よくなる会」を徹底的に佐倉支部攪乱し、分断攻撃への追及行動を開始する。

- (5)、以上の事態の本質と経過と具体的取り組みについて全組合員の意志統一をかちとるためのオルグを全支部で直ちに南催し、本部役員も参加する職場集会を各支部とも5月6日、15日の間に実施し、万全の闘争体制を築くこととする。

- (6)、5月17日南催する「結成一周年記念講演集会」を、不当処分粉碎闘争の具体化と総決起の場として位置づけ、全支部最大限動員をもって結集する。

(以上)



**5.17** 結成一周年記念集会  
**5.25** 三里塚現地総決起  
 不当処分断固粉碎・三里塚総決起  
 を全力で勝ちとり、